プレスリリース

2022 年 5 月 30 日

報道関係者各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点」プロジェクト（プロジェクトリーダー：田中浩也　環境情報学部教授）が鎌倉に研究拠点施設を開設 ～市民や観光客も参加できる「循環創造社会」の可能性を探索～

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」に地域共創分野育成型プロジェクトとして採択された「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点」（プロジェクトリーダー：田中浩也　環境情報学部教授）では、慶應義塾大学、鎌倉市および参加企業・団体 21 社の共創と、市民参加型実験を加速するため、JR 鎌倉駅徒歩 5 分となる場所※に研究拠点施設「リサイクリエーションラボ」を開設します。また、将来的に観光客も参加できる可能性を探索するため、「駅」を舞台とした「SHONAN FAB STATION PROJECT」を発足します。6 月 4 日には、誰でも無料で参加できるキックオフ・シンポジウムを開催し、現在進行中のプロジェクトと目指している未来像を紹介します。

※鎌倉市大町 1 丁目 1-14 AK 大町ビル

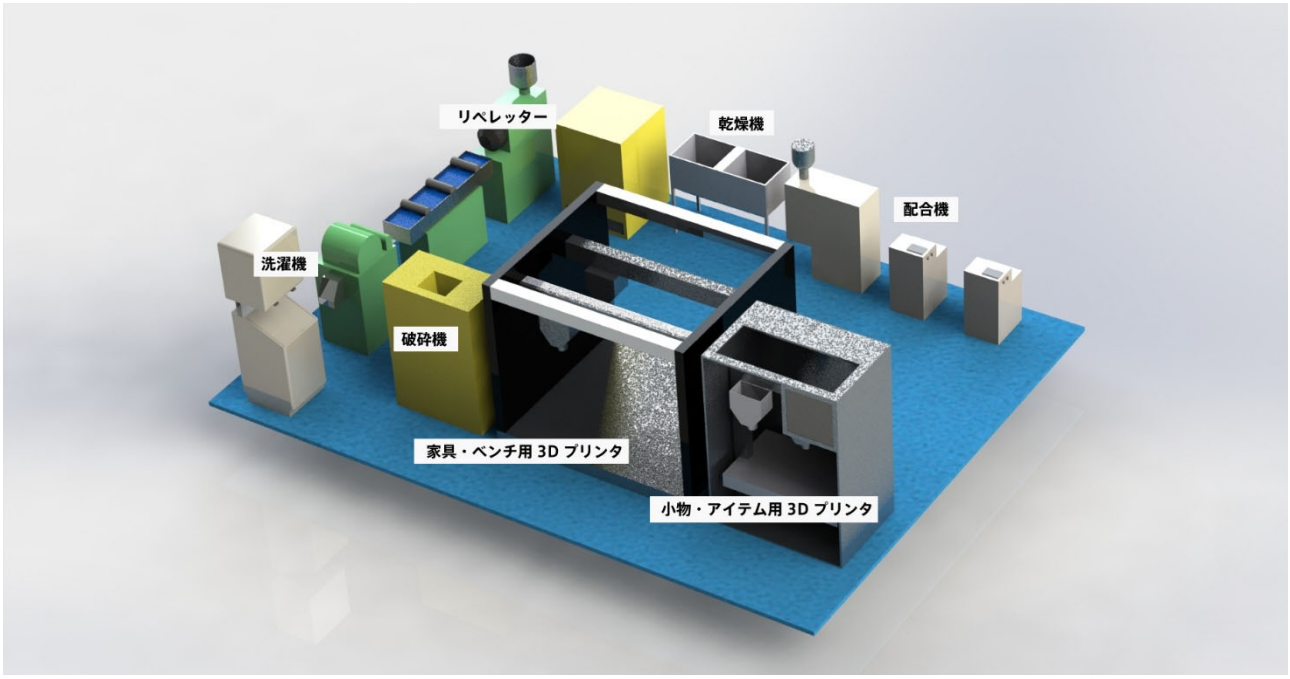
デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点について

「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」地域共創分野は、未来のありたい地域の社会像を策定し、その達成に向けて、バックキャストによる研究開発を行うとともに、大学・企業・自治体等による産学官共創拠点を形成し、地域の社会課題解決や地域経済の発展を目指すプログラムです。「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点」は、慶應義塾大学が代表機関となり、幹事自治体の鎌倉市、参画企業 21 社（幹事企業：株式会社カヤック）とともに応募し、地域共創分野育成型プロジェクトとして採択され 2021 年度より実施されています。

地域研究活動拠点「リサイクリエーションラボ」について

リーダーを務める田中浩也教授らは、JST「センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム」平成 25 年から令和 3 年(2013 年から 2021 年)において、プラスチックリサイクルと大型 3D プリンタを接続するシステムを完成させ、東京オリンピック・パラリンピック表彰台 98 台の製造で運用した実績を有しています。このシステムを鎌倉市における市民参加型資源循環に活用するため、このたび JR 鎌倉駅徒歩 5 分となる場所に研究拠点施設「リサイクリエーションラボ」を開設しました。このラボは、プラスチック高付加価値アップサイクルのための都市型施設として、国内初の事例となります。

また鎌倉市では、花王株式会社が 2016 年よりガールスカウトと、2017 年より株式会社カヤック、鎌倉市のまちづくりネットワーク「カマコン」らと連携し、市民参加型のプラスチック回収活動「RecyCreation（リサイクリエーション）」を実施してきました。今回のラボでは、これらの流れを統合し、回収からアップサイクルまでをつなぎ、市民・自治体・企業のすべてが創造的に参加できる新しい仕組みづくりを探索します。その端緒として、「しげんポスト」と名付けられた、行動変容を誘発する新たな回収装置を 3D プリンタで製造し、ラボ前、市役所などに実験的に設置する予定です。



「リサイクリエーションラボ」に設置される装置群（配置等は実際と異なります）

「しげんポスト」の外観イメージ

「SHONAN FAB STATION PROJECT」について

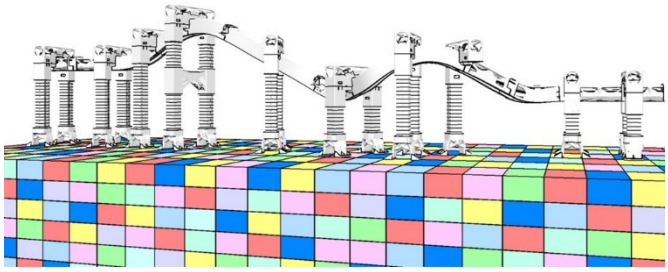
本プロジェクトでは、最終的に観光客も参加できる循環創造社会の可能性を探索していくために、「駅」を舞台とした「SHONAN FAB STATION PROJECT」を発足します。その端緒として、湘南モノレール・湘南江の島駅を会場とし、6 月 1 日よりプラスチックリサイクルをテーマとした展示を行います。展示台には、「RecyCreation（リサイクリエーション）」プロジェクトで回収された資源からつくられた「おかえりブロック」（花王株式会社による提供）が使用されます。

【展示概要】

展示名称「ぷらクル」
展示期間　2022 年 6 月 1 日（水）　～　12 月中旬
会場　湘南モノレール 湘南江の島駅　1 階および 3 階
公開時間　7:00-21:00

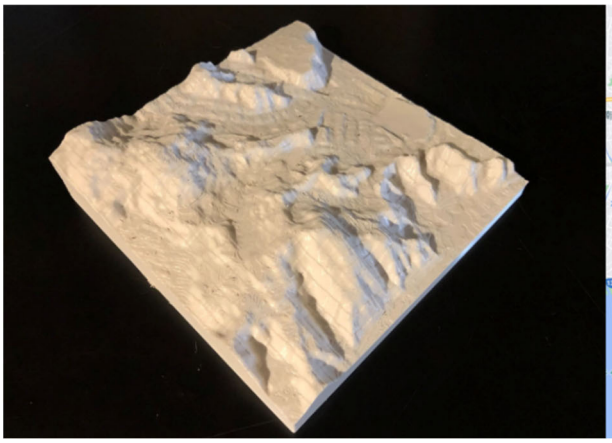
展示内容 1.　sasumo（サスティナブルモノレール：SOLIZE 株式会社）

プラスチックの地捨地消に楽しく取り組めるようなきっかけ作りを目的とした、湘南モノレール模型の展示を行います。この模型は、激しいアップダウン・カーブなど、ジェットコースターのような湘南モノレールを既存の商品を活用しながら表現しています。環境に配慮した設計を取り入れながら、3D プリンタを使った技術開発中のリサイクル材を活用し、レールや橋脚を製作しました。

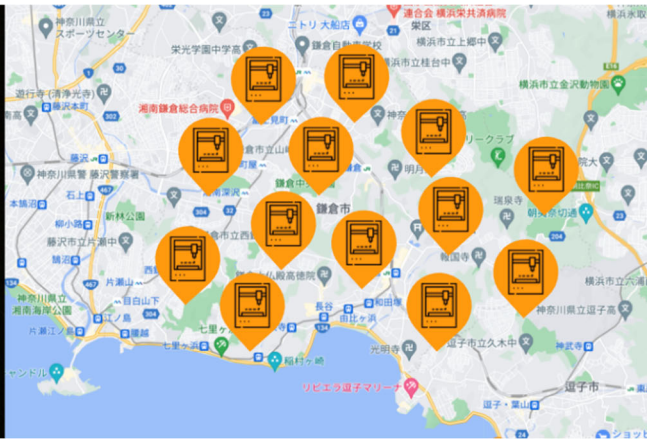


展示内容 2.　鎌倉 FAB の 13 人(ファブラボ鎌倉：2022 年 11 月開始)

鎌倉 FAB の 13 人では、縦(1800mm) × 横(1800mm)の大型立体地図を鎌倉時代の源氏の勢力エリアに分布する協力者とともに制作していきます。3D プリンタの使い方を学び、各拠点で出力された 150mm × 150mm の 144 のピースが、最終的に集まり大きな立体地図となります。仲間を集めながら制作していくのも本プロジェクトの醍醐味です。



大型立体地図のイメージ



地域内での自律分散型制作イメージ

キックオフ・シンポジウム（6 月 4 日開催）について

上述のような地域での具体的な研究活動を開始するにあたり、誰でも無料でオンライン配信に参加できるキックオフ・シンポジウム「リスペクトあふれる循環創造社会を目指して」を開催します。現在進行中のプロジェクト紹介に加え、「微生物によるプラスチック分解の現状と未来」に関する特別講演（本学 理工学部　宮本憲二教授）や、他地域の拠点との相互連携に関する議論を行います（オンライン視聴は無料で、誰でも参加できます。参加登録は https://coinext-keiokamakura-start.peatix.com/ より可能です。ポスター内の QR コードからもリンクに入ることができます）。

※QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
※本プレスリリースは、新聞各社社会部等に配信しております。

【本件についてのお問合せ先】
慶應義塾大学 SFC 研究所　デジタル駆動超資源循環参加型社会共創コンソーシアム
ＵＲＬ：https://coinext.sfc.keio.ac.jp/
E-mail: dmec@sfc.keio.ac.jp

【配信元】
慶應義塾大学　湘南藤沢事務室　学術研究支援担当
E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp